

# マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース(※)の研修生（特別研修生。以下「特研生」という。）が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 自治大学校における一年間の研修であり、研修期間中の概ね半分は自治大学校における実務に参画し、もう半分は通常の研修(第1部課程等)を履修することにより、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

4月に自治大学校に派遣されてから約2ヶ月、本来のスケジュールであれば、今頃基本法制研修Aが終わり、第1部課程に入ろうとしているところでしょうか。

新型コロナウイルスは多くの人々に影響を及ぼし、自治大学校においても研修課程の中止や実施時期の変更を余儀なくされました。

仕事のうえでは、テレワーク勤務が推進され、スカイプによるオンライン会議でのやりとりが積極的に行われるようになるなど、働き方を中心に、社会が変わる過渡期にいるのではないかと感じます。

生活面では、不要不急の外出の自粛が求められ、せっかく東京に来たにもかかわらず、外に飲みに行くこともできず、寄宿舍と近くのスーパーが行動範囲の全てとなっていました。とは言っても、幸いなことに自治大学校では、本を読んだり広い校内の敷地を散策することなどもでき、さほど退屈するようなことはありませんでした。

6月からは緊急事態宣言も解除され、立川市でもスーパー以外の店が少しずつ再開するようになり、徐々に以前のような社会に戻ろうとしています。まだまだ油断はできません。

こんな時期に研修なんて、という考えもあるかもしれません。

しかし、こんな時期だからこそ、全国各地から派遣されてくる研修生とともに、地域の医療体制や職員の働き方など、今後の自治体行政について議論し、学ぶことがあるのではないかと思います。

私自身もせっかくの与えられた学びの機会を無駄にすることなく、有意義に過ごしていきたいと思います。

でもそれと同時に、せっかくの東京生活ですから、コロナの影響が落ち着けば、渋谷や新宿に行ったり、いろんなお店を巡ったりもしてみたいですね。

(J.A)

## 自治大学校敷地内の散策



敷地内にあった七福神の像(？)

